

鯨ヶ沢漁業用海岸局

事業の目的

試験船及び取締船並びに一般漁船との間に漁業指導監督通信を行なうことにより、沖合漁船の海難の防止を計り、人命財産の保全と航行の安全が確保され、併せて外国 200海里海域及びその他の海域の操業秩序の維持と、漁海況情報の速報提供により、漁業生産の向上と安定を図る。

事業の内容

1 実施期間

平成4年4月1日～平成5年3月31日

2 交信海域

北部太平洋海域 三陸沿岸並びに沖合海域

北海道沿岸海域 青森県沿岸海域及び日本海全海域

3 担当者

局長 目時利税

総括主査 工藤 衛

総括主査 大友 守

4 取扱通信種別

(1) 漁業指導監督通信

試験船及び取締船並びに一般漁船との通信

外国 200海里内操業の入域ならびに操業位置、漁獲報告通信

漁海況情報収集並びに速報通信

調査協力漁船との漁海況情報収集通信

(2) 気象及び航行警報等の周知通信

(3) 遭難、緊急、安全の通信

(4) 一般漁業通信

(5) その他の通信

5 通信方式

(1) SSB無線電話プレストーク方式通信

(2) 気象、航路警報および漁海況情報のFAX受信

(3) 遭難自動受信機による24時間常時聴取

(4) 選択呼出装置による連絡設定

(5) 勤務形態

宿日直方式による勤務

事業の成果

出漁漁船に無線通信による気象情報及び航路に関する警報等を周知提供することにより海難を抑止でき、また漁海況情報を迅速に速報することにより出漁漁船の漁獲の効率的生産を向上させた、又、調査協力船からの無線による漁海況情報事業の強化により水産研究機関のスルメイカ予報事業の円滑と資源究明に大きく貢献した、外国200海域内0操業船の入域及び出域と操業位置及び漁獲報告について出漁漁船の安全操業に寄与した。

表1 通信取扱実績表（平成4年4月～平成5年3月）

月	指 導 通 信	漁 業 通 信	気 象	保 安	相 手 局	通 信 時 間
4	468通	529通	100通	1件	130局	460時00分
5	680	493	95	3	227	475 20
6	888	329	94	9	148	460 00
7	932	338	95	3	473	475 00
8	1,042	338	106	7	103	475 20
9	873	568	104	4	192	460 00
10	932	661	101	6	177	475 20
11	738	489	99	4	127	460 00
12	597	653	110	25	101	475 20
1	488	668	109	14	143	475 00
2	432	503	98	7	77	424 40
3	512	579	121	27	130	475 20
合 計 A	8,579	6,148	1,232	110	2,028	5,591 40
前年度 B	8,749	6,510	1,196	76	1,967	5,624 10
A / B	98.1%	94.4%	100%	144.7%	103.1%	99.4%

表2 漁種別所属船隻数

平成5年3月31日現在

漁 種	併 設 船	電 話 船	合 計	前 年 度	備 考
官 庁 船	3	3	6	6	
沖 合 底 曳		11	11	11	
イ カ 専 業		20	20	28	
マ ス 兼 業		10	10	17	
イ カ そ の 他		13	13	13	
そ の 他		16	16	15	
合 計 A	3	73	76	90	
前 年 度 B	3	89	92	106	
A / B	100%	82%	82.6%	84.9%	

表3 地区別屯数別所属隻数

平成5年3月31日現在

地 区	10吨以下	10～20吨	20～30吨	30～50吨	50～100吨	合 計
岩 崎 深 浦	0	6	0	2	2	10
鰺 ケ 沢	1	3	0	7	0	11
小 泊 相 内	8	13	1	1	1	24
下 前	8	10	0	0	2	20
三 厩 竜 飛	1	2	0	0	0	3
青 森	0	1	0	0	1	2
官 庁	0	1	1	1	3	6
合 計 A	18	36	2	11	9	76
前 年 度 B	28	40	3	11	8	90
A / B	64.3%	90%	66.7%	100%	112.5%	84.4%